

参加校の顧問の先生方へ

2018.07.03 高体連卓球専門部

下に掲載しました、試合要項の「16 注意事項」の内容について**選手・引率者・応援者**への徹底をお願いします。

①学校長に認められた**引率責任者の引率がないと試合に参加できません。**
試合当日の開会式前に選手の出席確認と同時に引率責任者の出席確認も行います。

②学校対抗の監督（1名）、および個人戦アドバイザー（1名）は、(公財)日本卓球協会に役員登録している該当校の職員・嘱託コーチに限ります。ただし、個人戦アドバイザーに関しては該当校の選手も可とします。
<ベンチ内で白い服装は、避けてください。>

③リーグ戦以外では、タイムアウト制は採用しません。試合中選手に**アドバイス**が出来るのは、学校対抗・個人戦のリーグ戦でゲーム間に選手がベンチへ戻ってきたときのみで、学校対抗ではベンチ入りした監督・選手に、個人戦のリーグ戦ではアドバイザーのみ、その資格があります。 **(1分以内)**

④ユニホーム（JTTAの公認マークが付いている物のみ使用可）が同じ物でないと出場できない種目：学校対抗・ダブルス
※ショートパンツは地色が同系色まで可。

⑤失格になる場合：遅刻（開会式で出席の最終確認をします。）、禁止されているラバー接着剤等の使用、ゼッケンを着用しない、**検印後のオーダー変更など（学校対抗）**。

⑥学校対抗の登録変更は、学校対抗初日の開会式前までに変更届を提出してください。申込書が変更届を兼ねていますので本部に申し出てください。

⑦会場については、駐車場が狭い所が多いので、**引率者・応援者の車での上場を禁止します。**
各参加校で御連絡下さい。<靴袋を必ず持参してください。>

⑧試合前の練習は、会場の台の準備がすべて終了してから譲り合って行って下さい。

⑨ゴミについては、各学校で必ず持ち帰り指導の徹底をお願いします。

⑩**広告付きユニフォーム**（全面積が24cm²を超えるもの）の**使用禁止**について
メーカーのネームやロゴが大きく入った「広告付きユニフォーム」は、高等学校体育連盟競技者及び指導者規程に『高等学校体育連盟の活動は「学校教育の一環として行われるものであり、アマチュア・スポーツマン精神に則り実施されなければならない。』』とあることから、高等学校体育連盟が主催する大会での着用は認められていません。

※ 解説

①万が一遅刻をしてしまいそうな場合は、**各地区委員長（または卓球専門部役員）**へ9時までに連絡を入れて相談をしてください。

②白の服装はプレーの妨げになる可能性が高いからです。

③特に学校対抗で選手がベンチに戻ってからコートに入るまでに時間がかかっている、全体の試合進行時間が長くなっています。

④**JTTAの公認マーク（赤のマーク）が付いていない白色が含まれているユニフォーム**については、その試合ごとに審判長の判断を仰がなければならない。

⑦**保護者へ直接、または選手を通して連絡をしていただきたい。**

⑩あるメーカーのHPでは、「このウェアは、広告扱いのユニフォームとなっております。大会によって規制がある場合があります。特に高体連や国体では、広告ロゴ入りユニフォームの着用を禁止しておりますのでご注意ください。」といった記載があります。ただし、メーカーによっては「広告付きユニフォームとなりますので一部の大会で使用できないことがあります。」といった表現や「一部の大会で使用が禁止されています。」などの表現だけのメーカーもありますが、「**一部大会**」には**高体連主催の大会は全て含まれています**のでご注意ください。

問い合わせ先
神奈川県高等学校体育連盟卓球専門部
専門委員長 丸山 茂樹
電話 042-772-0331 （県立相原高等学校）